

展覧会情報

この冬以降開催される地図・地理・歴史に関する展覧会・展示会等についてお知らせします。

古地図の世界 - 北方図 -

会場：岐阜県図書館・世界分布図センター

電話058-275-5111

会期：2003年2月1日～2月27日

・世界分布図センターでは岐阜県内で館外展示を行っています。

地図で見る東海自然歩道

郡上八幡総合文化センター 2003年2月4日～18日

街道と旅の絵図展

会場：富山県新湊市博物館

電話0766-83-0800

会期：12月19日～2月23日

金山家の絵図展

～12月15日まで開催中

企画展 江戸の街と諸国を巡る

会場：地図と測量の科学館

電話0298-64-1872

会期：11月19日～1月13日

大江戸八百八町展

会場：江戸東京博物館

電話03-5777-8600(ハローダイヤル)

会期：1月5日～2月23日

地図が語る沼津の歩み

会場：江原素六記念館

電話055-923-3335

会期：12月1日～2月27日

収蔵資料展 地図・地図で豊島区を読む

会場：豊島区立郷土資料館

電話03-3980-2351

会期：10月11日～1月12日

地図情報センターへのEメールアドレスが
icic_map@yahoo.co.jpに変更になりました。

《平成14年度第2回見学会(巡検)2月開催予定》

「浦安の旧海岸地域を歩く(仮称)」

平成14年度第2回目の見学会は、千葉県浦安地区を訪ねます。ベッドタウンであり、一般には東京ディズニーリゾートが有名な浦安ですが、古くから漁師町として栄えました。最近の埋め立てによって市域は約4倍にも拡大。普段訪れることの少ない浦安の別の面を探訪します。

また、平成13年4月1日に開館した「郷土博物館」では、浦安の自然・歴史・文化について参加・体験型の展示を行っています。

開催日：平成15年2月8日(土曜日)

集合：営団地下鉄東西線「浦安駅」改札10時

ご案内：伊藤等先生(日本大学)

詳細は追って参加者にお送りいたします。

当日、小雪・小雨決行。平坦な場所ですが、歩きやすい靴と服装でおいで下さい。昼食は博物館内レストランを予定。

参加申し込みはお電話かEメールで。

右上：浦安市郷土博物館全景

右下：屋外展示施設「浦安のまち」



地図総目

第16回 曲浦 / 由良ノ湊

井口悦男(帝京大学講師)

前回長汀の話をし、太平記の「大塔宮熊野落事」に触れた。その「由良ノ湊」に上陸したことがあった。50年ほど前の昭和28('53)年夏のことである。梅雨末期の集中豪雨で、紀伊半島中部の有田川、日高川などがあばれ、紀勢西線は寸断され、和歌山側は有田川鉄橋手前の紀伊宮原まで、一方の田辺側は日高川を渡る4つ手前の切目までとされ、復旧は不明とされた。それでもしばらくして、和歌山側に臨時航路を介し、湯浅～御坊～道成寺間の運行が始まった。その昔の紀勢中線のような前後の切れた路線が応急に営業できたのは、紀勢西線には紀伊由良から貨物支線が港の由良内駅まで伸びていたことで、ここを乗継地として舟車連絡が可能となり、必要な石炭も陸揚げできたからで、また上記区間に取り残された機関車、客車があり、御坊に機関車駐泊施設もあってのことによる。

おかげで、往年の紀州航路の一端に触れられ「由良ノ湊二楳」を入れられた。紀伊半島の紀伊水道側では、下津港と由良港の部分に限り深い湾入となる。その2地点を結び、臨時連絡航路が1日1便動いた。下津駅から鉄道に平行する道路へだてて、棧橋が海に突き出し、関西汽船所属の中型船が泊っていた。静かな湾内を滑りだすと、湾口近く左側(南寄)に東燃の岩壁があり、湾内停泊中のタンカーも見られた。外海に出て、加太沖の友ヶ島と同名の沖ノ島、地ノ島の間を抜け、順調に夏の海を走行し、快適そのものであった。有田川口の沖にかかると、海面は黄濁し、浮遊物が多くなる。大水の影響である。これが過ぎると、陸地は奥に下がり、シルエットの低い山頂が点々と続く湯浅沖にかかるが、町の様子は山すそと一体化し、よく分からなかった。

小さな海鹿島^{あしか}を見て再び断崖の山々が近づくと、蟻島が湾口を押えた由良港の入口に達する。セメント工場に見入るうちに一番奥の、下津と違って立派な石垣の岸壁に接岸した。平行して、木材や石炭が野積みされたホームがあった。木材と石炭の間で待つと、汽笛を鳴らしながら長い列車が実にゆっくりと入線してきた。線路が細く弱いからであろう。

父の郷里に水害見舞のオりの話で、帰路は列車であった。この貨物支線に旅客列車が運転されたのは、この時限りであったろう。それにしても、父や母が乗船した紀州航路は、紀勢西線の延長により昔話となった。一度だけその子供が、太平記ゆかりの湊に海上から訪れられた。これも今は夢語りに近い。



5万分の1「御坊」昭和28応急修正による(約65%縮小)
由良港への引込線に注意 現在は廃止
なお文中の紀州航路には 大阪名古屋線と大阪勝浦急行線とが毎日1便ずつあった

ICIC ニュース Vol.7 No.3 通巻 24 号

発行年月日: 2002年(平成14年)11月30日

編集・発行: 財団法人 地図情報センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5

神保町センタービル5階

.03-3262-1486 勳.03-3234-0872

<http://www.soc.nii.ac.jp/icic/>
E-mail icic_map@yahoo.co.jp